

魅力と期待の集まる新本部整備

— 新本部における事業／製品開発支援ラボについてのご紹介 —

4月号から全12回のシリーズで始まった、「魅力と期待の集まる新本部整備」として、平成23年度開設予定の新本部整備進捗状況や事業である製品開発支援ラボについて紹介します。

新本部の工事進捗状況

建築工事は、内装、外装共に最盛期を迎えています。図1は、屋上階の進捗状況と外壁に木製ルーバー（茶色の木片）が取り付けられているのがご覧頂けます。図2は、3階東側から中央に18室ある製品開発支援ラボです。急ピッチで設備工事、内装仕上げが進行中です。

10月末で建築工程は93%が完成します。



図1 新本部建設現場全景
(H22.10.18撮影)

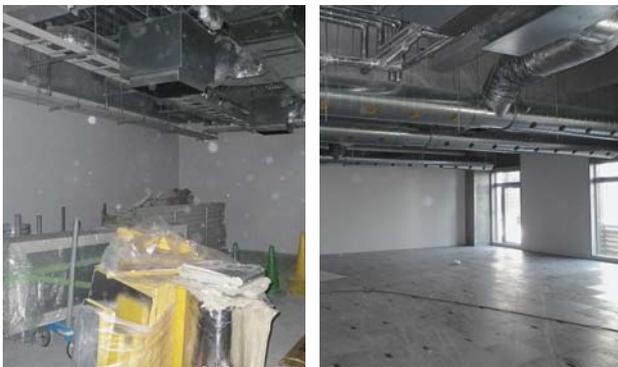


図2 製品開発支援ラボ工事状況
左) 化学系ラボ、右) 機械系ラボ
(H22.10.13撮影)

大幅に拡充する製品開発支援ラボ

新製品や新技術の開発に挑戦する中小企業、新分野進出を目指す中小企業を支援するため、有料の製品開発支援ラボを拡充します。新本部では現在の西が丘本部で運営している3室の製品開発支援ラボを大幅にスペースを拡大し、18室を設置します。

新しいラボでは、24時間入退室を可能とするなど、ラボ入居者の利便性を考慮したサービスを提供します。また、入居企業からの製品開発や知財に関する相談を受けるラボマネージャーを置くほか、工作台や小型旋盤、ボール盤などの利用ができる共用の加工室を用意します。

さらに、都産技研には専門の研究員のほかに、多くの分析装置や測定機器があります。それらを利用することで製品開発等のスピードを大幅に短縮することができます。

表1 製品開発支援ラボの特徴

種別	部屋数(室)	面積(㎡)	設備
機械系ラボ	5	約57~約110	流し台
電気系ラボ	5	約37	手洗
情報系ラボ	5	約31~約35	手洗
化学系ラボ	3	約54~約79	流し台 ドラフト実験台
共通の特徴、賃貸料等			
24時間入退室可能(カードキー方式)			
天井高さ: 2.5m~			
床荷重: 500kg/㎡			
電源: 単相/100V50A~、三相200V50A~			
賃貸料: 64,600円(約31㎡)~230,100円(約110㎡)			
共益費(予定): 13,600円(約31㎡)~48,600円(約110㎡)			

新拠点新本部に関してご質問のある方は、下記にご連絡下さい。

経営企画部 新拠点準備室 <西が丘本部>
山本 克美 TEL 03-3909-2176
E-mail: yamamoto.katsumi@iri-tokyo.jp

平成23年度 臨海副都心青海に新本部開設